

いけだ 議会 だより



ハリヨ



▲ヤッター！！優勝だ！！ (養基小学校の運動会)

9月定例会 ●主な内容●

平成20年度第3回定例会	2～3
委員会レポート	4～5
一般質問	6～9
意見書・広報全国研修	10
道の駅計画(案)	11
議会の動き etc	12

平成20年11月1日発行
130

●ホームページ●

<http://www.town.ikeda.gifu.jp/gikaki/gikai.htm>

●E-mail●

yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

平成20年
9月議会
1日～10日

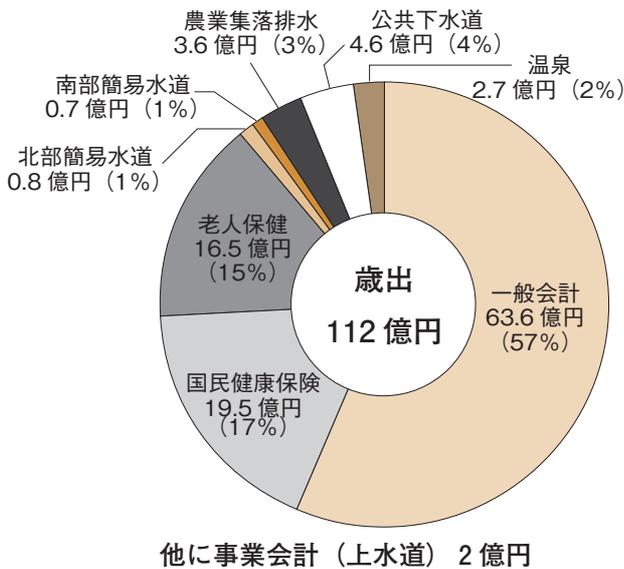
どう生かされたか
19年度歳出総額（一般会計と特別会計）
112億円

平成19年度決算を認定

一般会計 歳入 68億円
歳出 64億円

特別会計 7 会計と 1 事業会計（上水道）も認定

歳出（一般会計と特別会計）



議会審議の36件の主な内容

- 人事案件、6氏について同意（敬称略）
- 養基小学校保育所組合議員
香田智弘・細野 勝・窪田智秋
- 町教育委員
下野義弘・小川直美
- 町固定資産評価委員
森 廣幸
- 町議会議員の報酬等条例の改正
- 町特別職（町長・教育長を含む）の報酬等・給与条例の改正
- 町ふるさと支援寄付条例
- 平成19年度決算
- 平成20年度補正予算など

監査委員の意見

平成19年度決算について
会計・経理は適正であった。

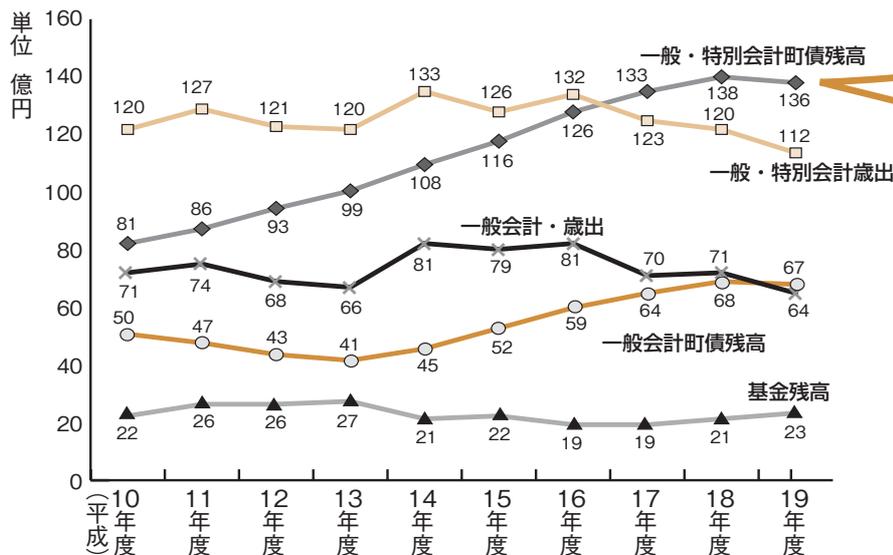
税の徴収率も高く、行財政改革の効果も現れてきた。今後とも厳しい財政状況をふまえ、最小の経費で最大の効果を上げるべく努力されたい。

上水道事業会計についても、自主財源による安定経営をめざし、町水道への切替え・未収金の徴収など積極的な取組みを望む。

その他

町政史上異例な「住民監査請求」が2件あり、適切に処理したが、これも町民の声として真摯に受け止め、プラス志向で町政に反映していただきたい。

過去10年間の池田町財政



これは元金でプラス利息 26 億円。他に水道事業で元利合わせ 23 億円の町債(借入等)がある。全体の元利償還金の 45%程は地方交付税として国から出る予定。

議会審議

議員報酬に関する条例の改正

	(単位 円)		今回の改正で	
	改正前の月額 ～平成18.3	現行月額 18.4～20.9	月額 20.10～	報酬等 年額
議長	330,000	290,000	310,000	5,289,000
副議長	290,000	255,000	285,000	4,862,000
常任委員長 2名	—	—	275,000	4,692,000
議会運営委員長	—	—	275,000	4,692,000
議員	270,000	238,000	265,000	4,521,000

質疑

- ・西濃地域で委員会の長に委員長報酬を出しているのは安八町のみ。以前から各2千円で、報酬も低い所。なぜ突出して新たに3委員長に出すのか。
- ・議運の委員長にも出すのなら仕事量の多い広報委員長にも出すべきではないか。
- ・なぜ資料に財政力の高い岐南町・笠松町を入れ関ヶ原町を入れなかったか。関ヶ原は議員定数9名、月額報酬16万円にされた所。当町はこの2年間月額23万8千円で年額406万円、議長は500万円だ。充分と考える。

答弁

- ・今年度、全員参加の常任委員会が2つとなり、そのとりまとめや町との調整をしっかりとさせていただくため。議会費として認められると思う。
- ・議運の委員長は、国会の国対委員長の役割をしていただく、常任委員長と同格とした。広報については準公務と考えている。
- ・報酬はその町の規模によって決めるべきもので他と比較しなくていいが、人口規模など類似の町・西濃地方のを参考に出した。関ヶ原町を入れなかった理由は特にない。

特別職報酬

町長及び議員等の報酬改正について、池田町報酬審議会の答申を頂き、町議会として全員協議会において協議し、本議会において慎重に審議致しました。

反対意見

諸物価高騰のおり特別職の報酬改正は、住民感情からしてすべきではない。

賛成意見

青年議員が生まれる様になるには、それなりの報酬が必要。町議会としても、定数を6人削減し議会経費を大幅に削減した。議員報酬の5千円減の答申は妥当な範囲内。報酬審議会の答申は最大限尊重すべき。

議員活動を充実して、町民に答えてゆく事が大切。採決の結果、賛成多数で可決。町民の皆様には審議の経過も踏まえ、ご理解頂きます様お願い致します。

特別職報酬は、18年4月から20年3月までの時限立法。20年9月まで延長。答申を否決した場合は、平成18年3月までの本条例に基づく報酬となる。

総務建設産業委員会

付託案件

- ◎ 19年度決算
- ◎ 20年度補正予算

主な審査の内容

- Q** 選挙開票時間の短縮で経費の節減は出来ないか。
- A** 経費は国の基準で決められ予算の範囲内で支出している。
- Q** 起債（借入）の長期借務を減らせないか。
- A** 繰り上げ償還をおこなうなどして減らしていく。
- Q** 住民税が上り滞納額が増えているのでは。



夏休みの養老鉄道研究作品

- A** 滞納整理を定期的に行い、徴収に努めている。（町税全般で19年度徴収率99.6%）
- Q** 養老鉄道に移行してからの利用状況は。

- A** 旧掛斐線側では利用者は増えている。民間のイベント等で利用者拡大をはかりたい。
- Q** 公共下水道の接続率が低い。従量制（メーター制）や家屋間距離の取り扱いは。（離れている所は公共下水ではなく合併浄化槽とする）
- A** 値上げ後、接続件数が減となったが回復してき

- た。従量制、家屋間距離については、今後の整備区域計画と同時進行でやっつけていく。
- Q** 上水道



故障中の国道417号線電光掲示板

- 企業債の利率の高いものは早期に償還できないか。
- A** 償還条件の整ったものから出来るだけやっつけていきたい。
- Q** 公園施設維持工事で、撤去するトイレの有効利用はないか。
- A** 災害対応できるものから使用していきたい。
- Q** 庁舎入り口の案内板や、池田町入口の電光掲示板に表示がない。
- A** 庁舎入り口は新たな案内表示板を設置したい。国道417号池田町南入口の電光掲示板は、文字が欠落し使用出来ない。修理に多額の費用がかかる。対応を検討中である。

民生文教委員会

付託案件

- ◎平成19年度決算
- ◎平成20年度補正予算

主な審査の内容

Q 地区公民館の講座に対する助成基準について。

A 地区公民館への予算配分の中で助成している。平成19年度までは予算要望どおりすべての講座に助成をしていたが、今年度より新規の講座に限り、3年間、月2回、1回につき1500円の講師料の助成を行うよう見直しをした。

Q 地区公民館内の図書室利用状況について。



宮地公民館の図書室

A 池田町図書館ができるまでは利用があったが、最近あまり利用がない。今後は多目的に利用すること

A 携帯電話の所持規制について。
A 中学生の約半数が所持している。学校へは持参し

A 総合体育館は、池田ス

均並。

も含め、各地区公民館と連携し有効に利用する方法を考えたい。

Q 豊かな体験活動推進事業とは。

A 小中学生が福祉、環境、地区活動などを体験する活動である。

Q さくら会館の利用について。部屋貸しや委託を考えてはどうか。

A 部屋貸しは今後検討したい。また、指定管理者制度も視野に入れ、管理方法を検討していく。

Q 小中学生の

ないように指導している。又、有害サイトのフィルタリングをするように指導している。

Q 学力テストの結果については。
A 全国的に見ると岐阜県は小学校より中学校の方が上位にきている。小学校は県平均並、中学校は県平均以上。学習状況調査は県平均並。



霞間ヶ溪のさくら会館

ポーツクラブに管理して頂き、コストカットなど効果は出ているので様子を見ていく。福祉センターは、指定管理者に移行しているが、町と連携しなければならない部分もあり、町職員も必要。



牧村範康 議員

池田町の観光PR行政について

～効果的で多角的なPR戦略が必要だ！～

昨年1月、観光立国推進基本法が施行されたが、池田温泉周辺地域の将来像を問う。

町長

観光圏整備事業として、広域的に進めていくことが大切。特に連泊できるエリアを形成することが目標。22年春には、(仮称)梅谷トンネルの開通、道の駅の整備が23年度、東海環状大垣西インターが24年頃です。道の駅の整備の充実をしながら、国道から温泉に向けての岐関線沿いの整備を進めたい。

ホームページ
HPのアクセス数が増加しているが、先進市町のように、町長や産業課長がブログで町をPRしたらどうか？

町長

ブログでの情報発信は有効な手段であるが、文字に残す場合は誤解を招く恐れがあるので慎重に進めたい。HP

のリニューアルに伴い、定期的に更新し、毎月1日に有線で流している「ふれあいトーク」を掲載していきたい。

池田フィルムコミッション事業を早期に立ち上げるべきではないか。

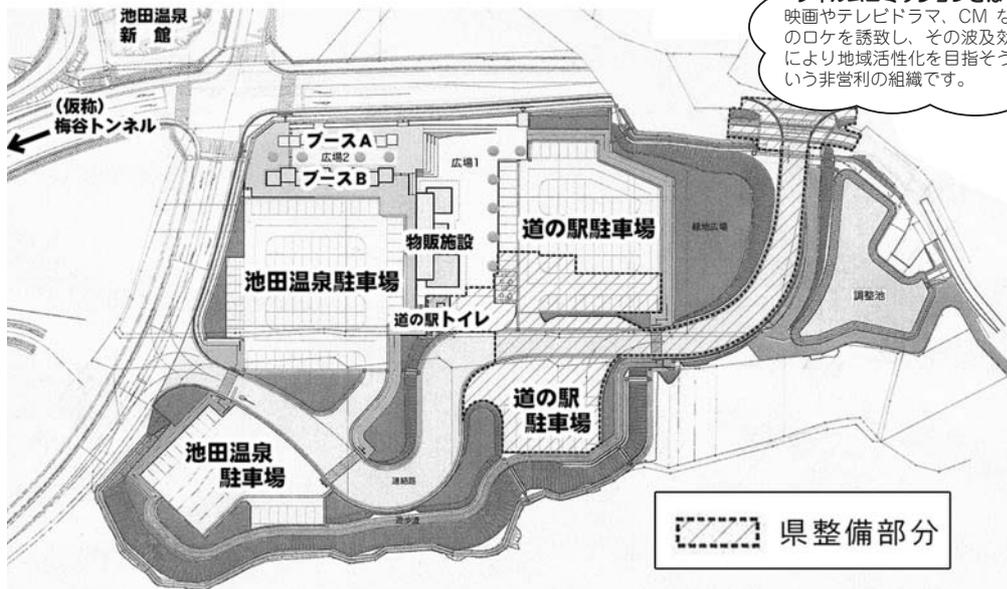
町長

池田町を売り込んでいけるように、西濃一帯と連携しながら広域的に進めていきたい。

計画の概要

計画面積	20,000㎡
物販施設	241㎡ (73坪)
道の駅トイレ	60㎡ (18.1坪)
ブースA	99㎡ (30坪)
ブースB	160㎡ (48坪)
池田温泉駐車場	小型102台/大型4台
道の駅駐車場	小型64台/大型9台

道の駅計画 (案)



若者の活力を集める 取り組みについて

晩婚化や非婚化が進む中、
少子高齢化対策の一環として

社協の結婚相談の効果が伸び悩んでいる。結婚への意欲を高めるために「結婚助成金制度」の導入が必要ではないか？ 県の「ぎふハッピープログラム」への積極的な取り組みを検討されたい。

町長

様々な施策の中に組み入れて今後考えていく。プログラムへも、参加しながら出会いの場を提供できるような形、町として継続的に見える状況、若い人達が住んでいただける環境をつくりたい。

その他の要望

・職員の企業意識の向上と災害など有事の時に機能できる青年組織の構築を…
・傍聴者や住民の皆様への配慮としても、議場での一問一答方式の導入を…



窪田弘子 議員

町長の判断は宝物（温泉）の将来を左右する

池田町に見るべき所はいくつもあるが、年間通じての目玉は温泉と山頂からの眺望。歴代の為政者はこの宝物を心して守り、より良いものにしていく使命がある。幸い温泉が好評で毎年4千万円余、一般会計へ入れ基金も約3億円たまった。これは「温泉」に使ってほしい。そもそも池田町の借金は全部で200億円にもなる。（後年45%ほどは交付税で補助してもらえそうだが）さらに借金して道の駅を作るのがいい判断なのか。

町長

町の財政計画の中で



各公共施設に設置されている

箱は11ヶ所設置、今までに219件ご意見をいただいた。これからは、提案箱の横に回答を提示する。

提案箱は生かせ

町長

全体としては年間300〜350万円かかることになるだろう。

道の駅の運営経費は。

活性化をはかる。疲弊している農家の方たちの拠点になればいい。

家庭菜園用地を町が斡旋したらどうか 耕作放棄地も減る

そのためにもぜひ農地の地図情報を作りたい！

安全な野菜を作りたい人は多いが小さい農地を貸したい人、借りたい人直接の話し合いは難しい。信用ある役場が中に入ってその橋渡しを。そのためにも農地の地図情報を作りたい。利用集積を目指す認定農業者・営農組合などの利用価値は高い。

町長

個人情報面の面も考え検討する。

全国の農地の1割が耕作放棄地だ。当町はどの位あるか。

町長

公には約1ha点在している。

取り入れたい農地の地図情報



農地の持主・面積・作物・土壌・水路…
一目でわかり、農地の利用がしやすい（県資料より引用）

池田山麓地域の活性化について



土川 博 議員

少子・高齢化、更には過疎化の進むなか、



山麓道路沿いの遊休地

池田町の大切な財産である池田山とその一帯の遊休地の活用、ふれあい街道を含めた今後の開発計画、また地域の手作りイベント「池田山麓ちよつとアートな春の市」のような村おこし行事などの視点

も踏まえ、池田山麓一帯の地域活性化についてどのように考えているか。

町長

山麓地域には2町歩・3町歩と固まった荒れた農地がある。そ

こに利益の上げられるものとして観光農園が考えられる。今後地質も含め研究していくことが必要だ。また、クラフト展は地域の方が独自に考えながらイベントを開催し地域おこしをしていただいている。そうしたことには、養老鉄道を利用したハイキング等を計画するなど側面的な支援をしていきたい。



池田山麓ちよつとアートな春の市

地籍調査の進捗状況は!!

住民の生活と財産基盤の確立はどうしてもやらなければならない事業だ。特に山麓一帯の区有林、私有林は境界が不明確である。治山・治水工事の際は勿論のこと、山麓一帯の今後の活性化を推進する上において地籍調査は大変重要であるがどのような状況か。

町長

財産を守っていく上において必要な事業である。平成14年度開始し、全体で5地区2.76平方キロメートル完了。現在養基地域3地区で実施。山麓一帯の地籍調査をするには、町内の各生産森林組合や管理組合の境界や面積が広大になるという問題点もある。事業費等のこともあり長期的な事業となると思うが、今後の研究課題としたい。



野網義一 議員

平成23年白鳥雇用促進住宅廃止!? 町営住宅化で入居者の不安なくせ

価格や耐震性など慎重に検討

雇用促進住宅とは

雇用保険の保険料で整備され、1961年から運営開始。政府の住宅政策五ヵ年計画にも位置づけられ公的住宅政策の柱となってきた。全国に14万戸35万人入居。1990年代に行政改革で廃止の方向が打ち出され、昨年12月の閣議決定で計画を10年前倒して2011年には784ヶ所、約6万7500戸を廃止決定。

白鳥雇用促進住宅

昭和47年4月1日運用開始。2棟80戸（間取り2K）RC五階建。
延床面積 3035㎡
敷地面積 3769㎡
現在53世帯110人が入居。

白鳥雇用促進住宅が平成23年度までに廃止されることになり、町営住宅として存続か、民間への払い下げか、立ち退き後解体して処分などがせまられている。経済的な問題等なかなか移転が困難な住民が多く全国で大問題になっている。町は平成6年度の町営住宅マスタープランにより空き家政策を実施。現在は管理戸数151戸のうち入居は140戸。昨年6月に申し込んだ人が未だに入居できない（待機者11人）。白鳥雇用促進を町営住宅にして計画を見直

す考えがあるか。その中でも入居者の意向や相談に応じられたい。

町長

機構側から建物の譲渡を受けるのか受けられないのか判断が緊急に迫られている。価格や耐震性の問題等考慮し対応したい。110名近い人が池田町民として住んでおられ、簡単に機構がそうされるから出て行って下さいといえない。入居者の意向を聞いて対応したい。



白鳥雇用促進住宅はどうか？



ずっと故障中の大津谷気象観測装置

9月2日から3日にかけての豪雨は平成14年7月を上回る災害をもたらした。ところが大津谷に設置された気象観測装置は平成18年9月15日以来故障したまま。ゲリラ豪雨と言われるように局地的に集中して雨が降る傾

大津谷・役場の 気象観測装置の改善を 災害関連で対応します



土砂で埋めつくされた大津谷

向がある。早急に復旧されたい。また、池田町役場の屋上に設置された気象観測装置も故障しがちで温度が高く出ることが多い。適正配置を望む。

町長

雨量や風・気温等基本的なものだけでも災害関連で整備したい。合わせて役場の気象観測装置も修理します。

国による基幹的な

水利施設の整備に関する

意見書

提出者

松岡正彦議長
全員起立(可決)

(要旨)

本町が位置する揖斐川中流域では、国営土地改良事業等により西濃用水が整備され、地域の農業発展のみならず、地域内の良好な環境形成に大きく貢献してきた。これらの施設は老朽化し、通常の維持管理に支障を来している。基幹的な水利施設の整備を短期間に効率的に行うべく、国営土地改良事業の西濃用水二期地区として早期に着工するよう国に要望する。

現在、政府の地方分権改革推進委員会などにおいて、国の地方部局の見直しが提起され、その中で「地方農政局については、大半の業務を地方に移譲し、地方農政局は廃止する。」との議論がなされている。

こうした議論では、基幹的な水利施設の整備など、本来国が担うべき責務を果たし、将来にわたって国民への食糧の安定供給ができるのか強く懸念される。

ついでには、次の事項について、実現されるよう強く要望する。

一、国民へ食糧の安定供給するため、基幹的な農業水利施設の整備、管理など、本来国家的プロジェクトとして実施すべきものについては、引き続き国の直轄事業として着実に実施していくこと。

(国に意見書を送付しました。)



西濃用水の岡島取入れ口

議会広報

全国研修会に参加

8月20日・21日と東京シエーンバツハ砂防で第68回町村議会広報研修会が開催され、岐阜県から池田町・養老町・川辺町の広報編集委員長等、4名が参加した。

池田町の編集委員会も議会の活動内容を正しく、解りやすく、さらにはインパクトのある見出しや写真を掲載出来る様、校正から写真撮りまで委員の手作りで毎回定例会ごとに発行している。11月号にも委員の熱意で新鮮な広報が出来たと思っています。

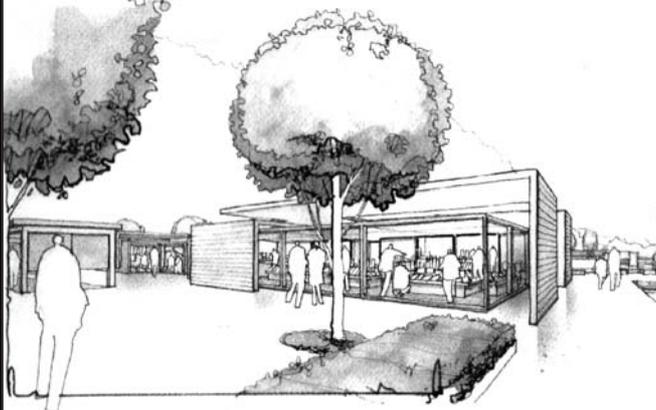
編集委員長



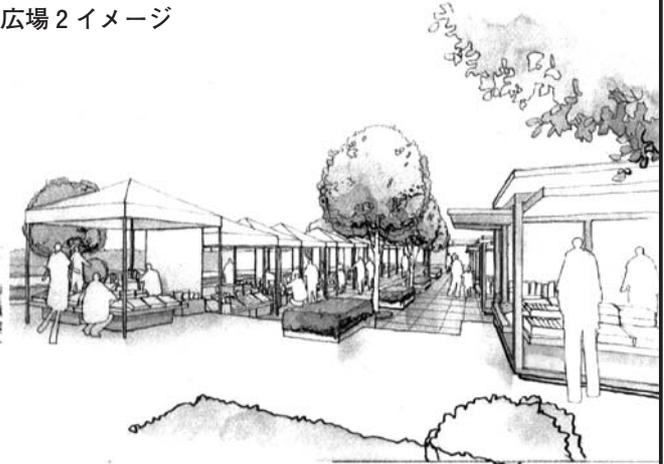
研修会場風景

道の駅建設計画(案)

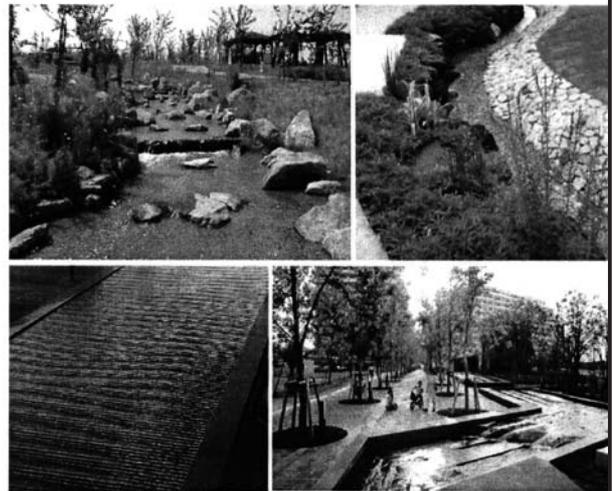
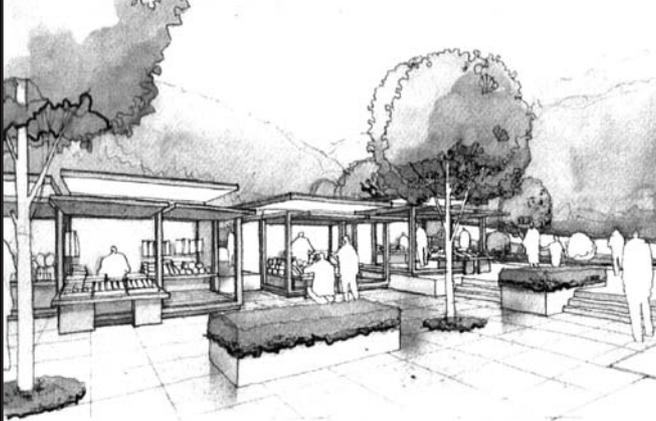
物販施設イメージ



広場2イメージ

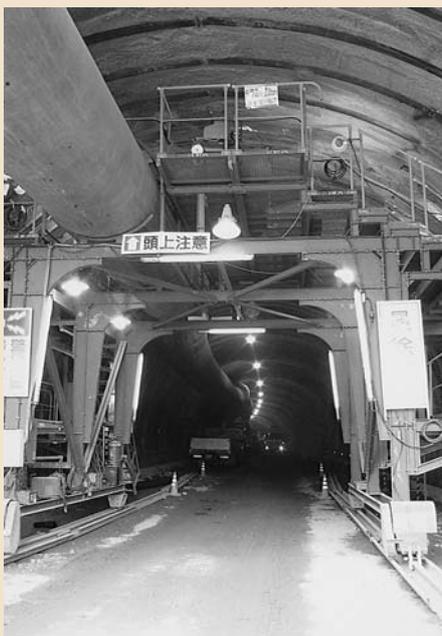


ブースBイメージ



せせらぎのイメージ

工事中の(仮称)梅谷トンネル(垂井側)



現在200m堀削
残り300m余りで接続

計画の特徴 (6ページ参照)

●物販施設

道の駅地域振興施設として各種店舗に利用する。

●道の駅トイレ

道の駅駐車場からわかりやすい配置とし、身障者駐車場からシエルトにより雨天時でも濡れずに行ける。

●広場(1)

イベント時に利用できる大きな広場として確保する。

広場に面する段床は観客席としても利用。

●広場(2)

イベント用テントなどを立てられる区画(ブースA)と簡易な屋根のある店舗区画(ブースB)に囲まれ、賑わいのある市場のような広場。

●せせらぎ

山からの湧水を利用したせせらぎを設け、うるおいのある風景とする。

町民のみなさまへ

町議会議長 松岡正彦

議会の動き

9月10日の定例会で窪田弘子議員の一般質問の中で、道の駅計画に反対の立場で、発言がありました。
その発言内容に事実と反する部分があった。
道の駅について、町長一存で決められたとの発言に対し、議会軽視として問題となり、議会を中断して、全員協議会を開催して、発言内容を確認しました。
その結果、自らの非を認めて、謝罪され、事実と反する発言内容は議事録から削除し会議が再開されました。
今後このような様な事の無い様努めてまいります。更なるご協力をお願い致します。

写真大募集

「いけだ議会だより」の表紙に掲載する写真を募集します！



応募資格

町内在住、在勤を問わず、どなたでも応募できます（ただし、個人に限ります）

メインテーマ

いけだの人々

募集期間

年4回 4月、7月、10月、1月のそれぞれ10日まで

※写真データは、返却できません。
応募多数の場合は選考の上決定します。詳しくは議会事務局まで。

議会傍聴のおしらせ

〈町政を知るよい機会〉
町議会を傍聴してみませんか

今、町では、どんな事が論議されているのだろうか。またどんな計画があって、どのように進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことも知れません。

だれでも傍聴できますので、一度おいでください。

次回定例会は、12月上旬

(開催予定)



又、図書館、議会事務局にて会録がご覧いただけますので、ご利用下さい。

日	内容
8日	池田町斎苑清掃
15日	議会全員協議会
19日	消防委員会
20・21日	議会広報研修
27日	議会運営委員会
28日	国民健康保険運営協議会
31日	町総合防災訓練
9月	
1日	第3回定例会
1日	本会議・議会広報編集委員会
4日	民生文教委員会
8日	総務建設産業委員会
10日	本会議（一般質問・委員長報告）
10月	
8日	広報編集委員会
14日	広報編集委員会
16日	広報編集委員会
17日	国体池田町準備委員会
17日	全国環境協同組合大会
21日	（下水道事業勉強会）
22日	広報編集委員会
22日	月例議員懇談会・常任委員会協議会
26日	第3回臨時会
26日	川と海のクリーン大作戦環境フェア

編集後記

任期途中での総理の辞任、麻生新聞閣のもと、大変な時代を迎え様々な問題が山積しております。新しく地元岐阜県からの野田、金子両代議士が大臣就任と喜ばしい処でございます。今年猛暑が続く最高気温も全国的に多くの所で更新した。又九月初には想像もつかない大洪水に見舞われ未だに手つかずの所もあるとのこと。災害にあわれた方々の一刻も早い復興を念じております。

この所の、テレビ、新聞等で賑わしております食の問題、我々では考えもつかないが、どうなっているんだと、声を大きく叫びたい。時代が違うと言えはそれまでもかも知れないが、食べ物に感謝される人はそのような事は出来ないと思いますが、先が思いやられる昨今です。

今年のオリンピックも、猛暑の中、国の代表である事を自覚され、頑張っておられる姿を、自宅の部屋でテレビ観戦、少し時を置いてパラリンピック、不自由な身体を一生懸命に力バーをし戦われる姿は誰れも感動されたのではないのでしょうか。さらに、親しみある紙面づくりに努力し、町民の皆さまに分かりやすい「議会だより」にしたいと思います。

委員 坂口博

議会広報編集委員会

委員	委員長	副委員長	委員	委員	委員
竹中芳弘	窪田弘子	遠藤和雄	坂口博	村口康	牧村康